

科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：身体運動の制御と学習 ILAS Seminar :Motor Control and Learning			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 久代 恵介		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	吉田南総合館東南棟101演習室		使用言語	日本語	
キーワード	身体運動 / 運動制御 / 運動学習						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
【授業の概要・目的】							
本セミナーでは、身体運動の制御と学習に関する初学者向け教科書を読み進めながら、身体運動が発現され、洗練されていくしくみと理論を学びます。身体運動が脳で作られるしくみ、作られた運動が骨格筋から出力されるしくみ、さらに、おこなわれた運動が評価・修正され運動学習が促進されるしくみと理論について、運動科学・スポーツ科学・神経科学分野の知見をもとに学んでいきます。本講義を通じて、普段われわれが経験的におこなっている日常の運動やスポーツの動作を、学術的な視点から捉え直します。							
【到達目標】							
本セミナーを通して、運動の制御と学習に関する基礎知識の習得を目指す。 普段経験的に体得しおこなっている身体運動について、学術的な観点から洞察する力を養う。							
【授業計画と内容】							
教科書：運動行動の学習と制御 麓信義（編）杏林書院 を用いて進める。							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 運動の学習と制御の方法 2) 動作の観察：力学的観察と評価 3) 動作の観察：生理学的観察とその意味 4) 学習された運動行動の制御 5) 運動と記憶 6) 運動行動の理論 7) 運動学習における付加的情報と注意 8) 状況判断と運動行動 9) 情報処理理論のオルタナティブ 10) 残された検討課題 							
上記の各章を受講生全員で分担し、毎回担当者が章の内容を発表する。担当教員がこれに解説を加える形式で授業を進める。							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点】							
出席状況と発表内容により総合的に評価する。詳しくは授業中に説明する。							
【教科書】							
麓信義（編）『運動行動の学習と制御』（杏林書院） 上記教科書を <u>購入することを前提に授業を進めます。</u>							
ILASセミナー：身体運動の制御と学習(2)へ続く							

ILASセミナー : 身体運動の制御と学習(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

発表者は十分に準備を行うこと。
前回までの内容を理解しておくこと。

[その他(オフィスアワー等)]

第一回目の授業には必ず出席すること。それが難しい場合は事前に担当者と連絡を取ること(kushiro.keisuke.5n@kyoto-u.ac.jp)。